

令和 8 年（2026 年）第 2 回町田市議会定例会
質 疑 通 告 書

まちだみらい（60分）

発言 順位	1	議席 番号	26	議員名	今 村 る か (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.1)	(1) (2026年度の市政運営の視点) に世界情勢や国内情勢に関して、その影響が続くと予測されているが、自治体経営・市民サービスの継続のため、特に財政基盤確立のための基本的な考えや今後の方針をどう考えられているのか伺う。				
(P.3)	(2) 「三位一体の改革」の3つの柱である「市民の健康」「教育の推進」「地域の活力」について、と記述されているが、この3項目を選択した理由を伺う。 一体化することによってより一層の効果を発揮されるのか、一体化の効果をどのように考えられているのか伺う。 これらが進むことで、どの様に誇れるまちだになるのか、市長の考えを伺う。				
(P.5)	(3) 子育て世代から選ばれることを背景に保育ニーズが増えているとしているが、こうした状況をどのようにとらえ、待機児童対策に取り組むのか伺う。				
(P.8)	(4) 今後も新たな学校づくりを進めていくとあるが、第1期の在り方をどう総括し、第2期にどう取り組むのかを伺う。 また今後の進め方についての考えとともに、学校跡地の活用の考え方についても伺う。 学校統合に伴い通学距離が長くなる児童生徒への対応について通学負担軽減に取り組むとあるが、今後の進め方を伺う。 多くの子どもたちが支援を必要とする状況にあり、教育の機会を逸することがないようとする旨とあるが、本校型の学びの多様化学校の整備の意義と役割をどう捉えているのか伺う。				

<p>施政方針 (P.9) 第58号 概要(条例) (P.8)</p>	<p>(5) 「地域の活力」を高めるため、中心市街地が不可欠とあるが、市長の目指す、市全体の都市計画から見た、多摩都市モノレール沿線まちづくりや町田駅周辺開発について、どのように考えているのか伺う。 リーディングエリアと位置付けているD地区の集客機能に関する検討状況と森野住宅居住者への配慮について伺う。 関連し、町田市中心市街地開発推進基金条例の目的と効果、並びに想定する積立額と基金の終了時期について伺う。</p>
<p>施政方針 (P.11)</p>	<p>(6) 将来を見据えた多摩都市モノレール町田方面延伸検討と、目の前の交通に関する課題についてももしっかり対応するため(仮称)町田市地域公共交通計画を策定とのことだが、地域交通の課題を市長はどのように捉えているのか伺う。 また本計画の目的、方向性、計画の期間、目標と関連する主要な取り組みについて伺う。</p>
<p>(P.14)</p>	<p>(7) 市民の安心のためには、市民病院がいつでも頼れる存在でなければならない、その実現に救急体制を強化し、良質な医療の安定提供が出来る経営改革を進めるとあるが、新しい中期経営計画におけるコスト負担をどう解決されるのか伺う。 とりわけ救急医療体制強化に係るコスト負担をどの様に考えられているのか伺う。</p>
<p>(P.15)</p>	<p>(8) 激甚化・頻発化する災害に実効性のある防災対策を講じるとあるが、これまでの災害の教訓をもとに町田市地域防災計画をどう実行性のある内容に変えていくのか伺う。あわせて学校統合の工事期間と閉校後の避難場所確保や要配慮者対応についての考えを伺う。</p>
<p>施政方針 (P.16)</p>	<p>(9) 高齢者が住み慣れた地域でいきいきと生活を続けるため、健康を見守る(仮称)見守り手帳導入検討を進めるとあるが、導入することによってどのような効果を期待されているのか伺う。また既存の見守り支援制度などとの連携統合や、策定を予定している次期町田市いきいき長寿プランには反映されるのかも含め伺う。</p>

発言 順位	1	議席 番号	26	議員名	今村るか (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.19、20)	<p>(10) デジタル技術を活用して新たなサービスを創出する一方で、デジタルと対面、それぞれの特性を活かし、既存サービスや市役所の体制を見直すとのことだが、DX推進によって職員の働き方をどの様にされたいのか、その変化は市民サービスにどのような恩恵を与えるのか伺う。</p> <p>行政窓口のあり方も見直すとのことだが、市長の思い描くものを伺う。</p> <p>デジタルデバイド対策をどう進めるのか伺う。</p>				
(P.21、6)	<p>(11) 公共施設の再編は行政改革の一丁目一番地の取り組みと捉え着実に進めるとあるが、再編を市長はどのような考え方によって進めるのか伺う。</p> <p>子ども家庭センター、教育センター、子ども発達センター、都立児童相談所など複合化する(仮称)子ども子育てサポート等複合施設は各機関の連携が重要であり、どのように整備して複合化のメリットを表そうと考えているのか伺う。</p> <p>また、市民や当事者、関係者、事業者等の意見は整備計画にどう反映されていくのか伺う。</p>				

発言 順位	2	議席 番号	3	議員名	小野りゅうじ (個人質疑)
議案番号等	要 旨				
第59号	<p>(1) 改定後下水道使用料において、単身世帯(8m³)の値上げ幅が大きい理由は。</p> <p>(2) 下水道使用料の減免制度に変更はあるのか。</p> <p>(3) 下水道使用料改定の判断に至るまでの間、経営健全化に向けてどのような取り組みを行ってきたのか。</p> <p>(4) 改定後下水道使用料の料金体系は、どれ位の期間、維持できる見通しか。</p>				

選ばれる町田をつくる会（55分）

発言 順位	3	議席 番号	30	議員名	若林章喜 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.5)	(1)待機児童についての現状及び課題認識や今後の方向性について、市長の考えは。				
(P.7)	(2)20代の若者転出超過について市長の考えは。また生涯学習センターでの取組を開始した課題意識と今後期待する効果は。				
(P.7)	(3)新たな学校づくりに対する市長の想いや、今後の進め方は。また、学校統合に伴う通学負担の軽減に関して、市長が考える方向性は。				
(P.12)	(4)忠生スポーツ公園について、今後整備が進んでいく峠谷地区・旧埋立地地区における、公園のコンセプトや将来展望、今後の進め方は。				
(P.12)	(5)「ゼロカーボンシティまちだ」の実現のため、市としてどのような姿勢で環境政策に取り組んでいくべきと考えているのか、市長の考えは。				
(P.13)	(6)文化芸術のまちづくりにかける市長の想いと、10年後にどのようなまちの姿を描いているのか。また、計画に基づき、今後どのような取組を進めていく考えか。				
(P.18)	(7)地域コミュニティについて、市が法政大学と共同で研究に取り組んだ背景・目的は。また、「持続可能な地域コミュニティ」の実現に向けて示した方針の内容は。今後どのような施策に取り組むのか。				
(P.18)	(8)デジタル化の取組について、市長の考えは。				
(P.19)	(9)これまでの行政窓口のデジタル化の状況と課題、今後の見直しの方向性は。				
(P.21)	(10)今後「公共施設の再編」をどのように進めていくか、市長の考えは。				

自由民主党・日本維新の会（55分）

発言 順位	4	議席 番号	1 2	議員名	加藤真彦 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.3)	<p>(1) 市政運営の視点について</p> <p>①「まちだフィロソフィー」について</p> <p>子どもたちの教育において、市長が日ごろから大切にされていることは。また、「まちだフィロソフィー」の具体的なイメージは。</p>				
(P.8)	<p>(2) ここでの成長がカタチになるまちをつくる取組について</p> <p>①地域活用型学校について</p> <p>地域活用型学校に期待する役割や、今後の展望は。</p>				
(P.9)	<p>(3) わたしの“ココチよさ”がかなうまちをつくる取組について</p> <p>①中心市街地の再開発について</p> <p>市長が思い描く中心市街地の未来と、その実現に向けた投資の考え方は。また、D地区の集客機能についての検証状況は。</p> <p>さらに、新たな基金の設置に関連し、開発全体の事業費や市の歳出規模の見通しは。</p>				
(P.9)	<p>②まちの治安に対する不安への対応について</p> <p>安全安心な中心市街地の実現に向けた課題は。</p> <p>また、条例制定を進めて行く上で、検討の進め方やスケジュールは。</p>				
(P.11)	<p>③芹ヶ谷公園“芸術の杜”について</p> <p>これまでに市民からどのような声が寄せられたのか。</p> <p>また、今後の方向性は。</p>				
(P.12)	<p>④新しい里山づくりについて</p> <p>新しい里山づくりに向けた市長の思いは。</p> <p>また、今後具体的にどのような取組を進めていくのか。</p>				

発言 順位	4	議席 番号	1 2	議員名	加藤真彦 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P. 14)	<p>⑤シティプロモーションについて 今後どのような姿勢でシティプロモーションを進めて行くのか。 また、2026年度の取組は。</p>				
(P. 14)	<p>(4) 誰もが“ホッと”できるまちをつくる取組について ①市民病院の救急体制の改革について 市長の課題認識は。 また、救急科の必要性や期待される効果、今後の展望は。</p>				
(P. 16)	<p>②「(仮称)見守り手帳」の導入について 「(仮称)見守り手帳」を導入する狙いや、効果は。</p>				
(P. 17)	<p>(5) みんなの“なりたい”がかなうまちをつくる取組について ①市民の意見を伺う機会について 「市民討議会」について、市長の考えは。</p>				
(P. 20)	<p>②財政見直しについて どのような考えで財政運営を行っていくのか。 また、どのように未来への投資を実行していくのか。</p>				

発言 順位	5	議席 番号	3 6	議員名	佐藤伸一郎 (個人質疑)
議案番号等	要 旨				
第59号	<p>(1) 条例改正の理由は。 (2) 下水道使用料の改定案の特徴は。</p>				

公明党（50分）

発言 順位	6	議席 番号	18	議員名	松葉ひろみ (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針					
(P.3)	(1) まちだフィロソフィーの教育活動への反映について				
(P.5)	(2) 保育ニーズの地域偏在への対応と将来の人口減少を見据えた施設整備方針について				
(P.7)	(3) 若者の参画による「子どもにやさしいまち」の推進について				
(P.8)	(4) 学びの多様化学校基本計画の策定と不登校支援の中核的役割について				
(P.9)	(5) 中心市街地における客引き防止条例の制定と安全・安心なまちづくりについて				
(P.10)	(6) 多摩都市モノレール延伸と連動した魅力向上策と持続可能な公共交通網の構築について				
(P.13)	(7) 「文化芸術のまちだアンバサダー」について				
(P.13)	(8) 「町田木曾山崎パラアリーナ」の整備を通じた共生社会の推進について				
(P.14)	(9) 市民病院の救急体制強化による経営健全化と今後の地域医療ビジョンについて				
(P.15)	(10) 地域防災計画の修正と要配慮者支援、フェーズフリーの推進について				
(P.16)	(11) 「(仮称)見守り手帳」の導入を通じた、健康寿命延伸に向けた具体的な取組について				
(P.21)	(12) 公共施設の適正な規模・配置への再編と持続可能な施設運営について				

日本共産党（45分）

発言 順位	7	議席 番号	32	議員名	細野龍子 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.1)	<p>(1) 「社会情勢の不透明さ」による経済活動や、市民生活への影響について、これまで続く物価高騰に加えイランへのアメリカ、イスラエルの軍事攻撃に端を発したホルムズ海峡封鎖による物価高騰やナフサ由来の資材不足が市民生活や営業に深刻な影響を与えているが、現状について市長の認識を問う。</p> <p>また、市民生活や営業を守るための支援の必要性について、見解を問う。</p>				
(P.3)	<p>(2) 三位一体改革について問う</p> <p>「市民の健康」「教育の推進」「地域の活力」を3つの柱とした理由と市長の思いについて問う。</p>				
(P.5)	<p>(3) 「子どもにやさしいまちは、高齢者や障がい者など、誰にとってもやさしいまち」と述べているが、特に障がい者にとってやさしいまちとは、どういうことか。見解を問う。</p>				
(P.7、8)	<p>(4) 学校統合について</p> <p>新たな学校づくり推進計画の第1期事業に寄せられた市民の声や浮き彫りになった課題について、第2期に反映させ改善した内容は何か。</p> <p>中でも通学負担の軽減にはどのように取り組むのか。</p>				
(P.7、8)	<p>(5) 不登校の子どもたちが、教育の機会を逸することがないように、学びの多様化学校を整備していくと述べている。しかし、2029年4月の開校までは、だいぶ時間があるが、それまでの間、特に小学校の不登校児童へはどのように対応するのか。</p>				

発言 順位	7	議席 番号	3 2	議員名	細 野 龍 子 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P. 9)	<p>(6) 「地域の活力」を高めるための中心市街地の再開発について</p> <p>① D地区のまちづくりにあたっての検討課題を問う。また、森野住宅住民が住み続けられる権利を保障すべきだがどうか。</p> <p>② 中心市街地の再開発事業において、総事業費の見通しと基金の目標額を問う。</p> <p>また、多額な財政投入が予想される再開発よりも、困難な市民のくらしや営業を守ることを優先すべきだが、市長の見解を問う。</p>				
(P. 11)	<p>(7) バス減便の要因である運転士不足を解消するための町田市の取り組みと、コミュニティバスやデマンド交通の取り組みなど移動しやすい環境づくりについて、市長の考えを問う。</p>				
(P. 11)	<p>(8) 町田市の大きな魅力として、みどり豊かな自然を評価しているが、その一方で野津田公園や芹ヶ谷公園等の樹木の伐採や自然環境を壊す整備が進められている。市長の考え方について問う。</p>				
(P. 14)	<p>(9) 市民病院の救急医療体制の強化は市民にとって期待される政策だが、救急の専門の医師や看護師の確保の見通しについて問う。</p> <p>また、通常の診療体制を整備するためにも脳神経内科の再開も必要だが、見解を問う。これらを実現するうえで、市の財政支援も含めた経営改善策が必要だと考えるが、見解を問う。</p>				

発言 順位	7	議席 番号	3 2	議員名	細 野 龍 子 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P. 21)	<p>(10) 「公共施設の再編」を行政経営改革の一丁目一番地として取り組むとされているが、「公共施設等総合管理計画」「公共施設再編計画」については、利用する市民の声を聞くべきである。請願や要望など市民の声をしっかりと受け止め、市政に反映するという市長の姿勢を示すことが必要だが、見解を問う。</p>				

発言 順位	8	議席 番号	2 1	議員名	田 中 み ほ (個人質疑)
議案番号等	要 旨				
第 5 9 号	<p>(1) 下水道使用料の改定の具体的な値上げの内容について問う。</p> <p>(2) 国が今夏の光熱費の補助、東京都が水道の基本料金無償化を予定している中、下水道料金の引き上げについて、市民理解が得られるか、市の認識を問う。また、下水道使用料改定にあたり市が実施した市民意見募集結果の主な内容について問う。</p> <p>(3) 下水道使用料の値上げをしないために、一般会計の繰入を増やす検討はされたのか。</p>				

無所属（45分）

発言 順位	9	議席 番号	15	議員名	松岡みゆき (代表質疑)
議案番号	要 旨				
施政方針 (P.7)	<p>(1) 新たな学校づくりの取組の学校統合について、市長は先の市長選挙の公開討論会で「現場の声をやはり聞き取れていなかった部分ってあると思う。その部分はもう少し見直しした方がいいと言う部分はあります」と発言されています。又、近年の物価高騰により学校建設費が増額し全国で計画の見直しが相次いでいるが、市長の考えをお聞かせください。また、学校統合に伴い通学距離が長くなる児童・生徒への対応についても、通学路の安全対策が重要と考えるが市の考えをお聞かせ下さい。</p>				
(P.10)	<p>(2) 市内での起業・創業の促進や、事業を次世代につなぐための事業承継の推進に取り組み、より多くの働く場を確保するとあるが、市では若者世代の転出が顕著です。若者の働く場として具体的にどのように取り組んでいくのかお聞かせください。</p>				
(P.10)	<p>(3) 多摩都市モノレール町田方面延伸の沿線の中心市街地や木曾山崎団地地区でのまちづくり・公園整備などのまちの魅力向上を掲げているが、どのように、進めていくのかお聞かせください。</p>				
(P.13)	<p>(4) 「町田市文化芸術のまちづくり計画」がスタートしたとあるが、市では町田市文化協会もその一端を担っている。春と秋の市民文化祭では、多くの市民が参加している。これに対して市はサポートをどのように取り組むのかお聞かせください。</p>				

発言 順位	9	議席 番号	15	議員名	松岡みゆき (代表質疑)
議案番号	要 旨				
施政方針 (P. 15)	(5) 救急救命士の資格を持つ、非常勤職員も採用し、他の医療施設等との搬送を中心に、地域医療連携の強化にも活用するとあるが、非常勤職員の採用人数と地域医療連携の強化の取組みをお聞かせください。				
(P. 15)	(6) 「町田市地域防災計画」の見直しにおいて、学校統合の進む中、廃校の体育館をどうするのか、避難施設として活用していくのか、今の時点で避難施設は足りているのか。どう検証していくのかをお聞かせください。				
(P. 16)	(7) 高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと生活を続けるために、健康を見守る新たな仕組みである、「(仮称)見守り手帳」の導入についての内容をお聞かせください。				
(P. 19)	(8) 国が推し進めている、自治体・医療機関等をつなぐ情報連携システム「パブリック・メディカル・ハブ」、いわゆるPMHの活用は、資格確認作業やデータ入力の削減など、事務負担の軽減につながる。しかし、完全一体化の遅れが指摘されているとの情報を得ているが、市はどのように進めているのかをお聞かせください。また、「施工管理アプリ」を運用開始したとあるが内容をお聞かせください。				

発言 順位	10	議席 番号	4	議員名	はせがわ圭亮 (個人質疑)
議案番号等	要 旨				
第59号	<p>(1) 上水道は値上げしないのに下水道だけ値上げするのはなぜか。</p> <p>(2) 市民や事業者への周知はどのように行うのか。</p>				
第51号 概要(予算) (P.18)	<p>全国特別重点調査結果に基づく雨水管修繕事業</p> <p>(1) 緊急度Ⅰの雨水管の緊急修繕について、老朽化もあいまって緊急修繕とのことだが、そもそも更新が必要ではないか。</p> <p>(2) 緊急度Ⅱの修繕予定はどのようにになっているのか。</p>				

諸派（10分）

※他の諸派議員（うのつのはこ議員）より譲り受けた5分含む

発言 順位	1 1	議席 番号	3 4	議員名	ふじた学 (個人質疑)
議案番号等	要 旨				
第59号	<p>(1) 急激な値上げとなる下水道使用料改定となった理由は。</p> <p>(2) 急激な値上げとなったことを踏まえ、どう今後の経営に活かすのか。</p> <p>(3) 突発的な需要にも対応できる経営が可能な下水道使用料となるのか。</p> <p>(4) 物価高騰により中小・零細企業、飲食店、病院、介護施設、保育施設等の事業者が厳しい経営状況にある中、下水道使用料改定に関する周知や、改定によって影響を受ける事業者への対策は、どのように行うのか。</p>				
第49号 概要（予算） (P.10)	<p>(1) D地区関連（リーディングエリア）稼げる集客施設のイメージは。</p> <p>(2) これまでの文化芸術ホールとの関連性は。</p>				

諸派（5分）

発言 順位	1 2	議席 番号	2 2	議員名	矢口まゆ (個人質疑)
議案番号等	要 旨				
第49号 概要（予算） (P.16)	<p>町田駅周辺客引き等防止事業</p> <p>(1) 無作為抽出で3,000人へアンケートを行うとのことだが、2025年度市民意識調査報告書には、“町田駅周辺の中心市街地を訪れる頻度は「あまり行かない」と「まったく行かない」を合わせた《行かない》層の割合は、『小山』(54.2%)、『相原』(48.1%)の2地区で45%を超えている。”とまとめられている。夜間に町田駅周辺を訪れる頻度となると、さらに該当者は絞られ、地域によっては本事業のアンケートを受け取る半数以上が夜間帯に町田駅を訪れないのではないか。</p> <p>(2) アンケートで、被害経験や心理的な不安度のある方がほとんどいなかった場合や、過料の導入に対する賛成意見が少ない場合、現状に対して不満の声が少なかった場合には、過料の導入や条例制定について、すでに進めている検討をやめるのか。</p> <p>(3) すでに過料の導入を視野に入れ、施政方針で説明のあった“条例制定に向け、具体的な検討を開始”しているのであれば、それらの素案を示した上でのアンケートとなるのか。</p>				

諸派（5分）

発言 順位	13	議席 番号	29	議員名	友井和彦 (個人質疑)
議案番号	要 旨				
施政方針 (P.15)	<p>(1) 2026年度の主要な施策 なりたいまちの姿の3つ目 中の「町田市地域防災計画」の見直しについて</p> <p>①市内事業者や周辺自治体との連携を積極的に強化する とあるが、「連携先」と具体的に「何をどのように連携 強化」するのか。</p>				
(P.19)	<p>(2) 3つの経営基本方針中、2「対話を通して市役所能力 を高める」について</p> <p>持続可能な行政経営を図る観点から「行政窓口のあり方 を見直す」とあるが今後の町田市職員定数管理計画に定 数減も加速させるとの認識で良いか。</p>				